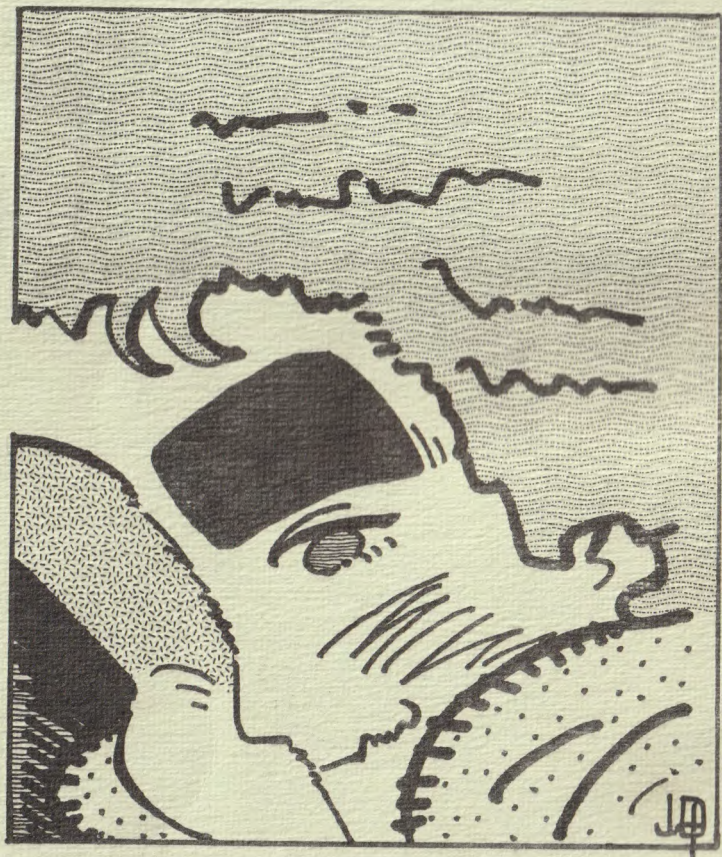


一 些 雜 錄

--- () ちん せん --- 5.6.7

44下(た) 5.6.7 特集5



竹下けい

まじめ
お
初めて SF 研する
の為に
フロフェール

本名・上野山 英

・本当に本名です

- 「竹下けい」とは、ペンネームおびりフの名です
- 「SF研」とは、狂気と汚穢に満ちた世界
- 「追放荘」とは、竹下けいら 4人が共同生活をし、第2の部室となつたアパート
常日寺、8人ぐらいいました。

ちげけ毛
中味は卒業単位
ぎりぎり
スリルを楽しんだ!

ノマルで
オーバー・フェンダー

ノードマークの
「3本線」

「むにゅ」とした口
数々の名言を放つ



66kgをささえる
お腹

運動神経が発達して
いそうで、鈍い!!

ゆCが好き♡
・しかし、使用に絶えない



質感のあるゲジゲジ眉毛

うすら可愛い目

熟睡の時は全く目醒めない

数々の名作を生み出した

自然に盲牌してしまう

ゆCも好き!!

この先はすでに
ゆCが壊れている



一点鎖線

Vol.7

竹下けい結婚時集

竹下けい 特集

竹下けい創作年表25 竹下けいを斬る 26

竹下けい未来年表 62

『ぼく』の恩返し 40

『ぼく』の恩返し 40

『ぼく』の恩返し 40

『ぼく』の恩返し 40

『ぼく』の恩返し 40

64

35

54

40

28

上野山裕子

竹下けい

64

35

54

40

28



怪物、あつむる

わさあきと

4

異常事態発生

左幸なまき

8

『ぼく』の恩返し

かとうくん

10

竹下挿物控

千原 俊

12

ワシガ竹下じや

岬 とおる

22

生田慕情

三鬼 亮輔

57

懐き追妻狂

ああやっほり

高見 俊

18

たまたま持ちあふ

しまじい

高見 俊

19

すのめおまん

そんご

高見 俊

20

『ぼく』のラブレター 阿蘭利 14

異常事態発生

左手なおゆき



「みなさん、今日^{今日}は。猪首元^元です。あの、細^細胞^胞具^具新^新聞^聞のトッパ^{トッパ}記者^{記者}、竹下^{竹下}けいさん^{けいさん}が、周囲^{周囲}の目^目をかえりみず、結婚^{結婚}という事態^{事態}に踏み^{踏み}きってしまいました。それでは、気炎^{気炎}を上げる竹下^{竹下}さんに、現在の心^心境^境を聞いてみましょう。竹下^{竹下}さん、大変^{大変}な事^事になりましたね。どうですか、今^今のお気持^{気持}ちは？」

「どあ〜、すわ〜」

「どあ…と申^申しますと…」

「すわ〜、だーほ〜」

「落ち^{落ち}着^着いてください。お、お気持^{気持}ちはわかり^{わか}ります…」

「うーや〜ごお〜」

「た、竹下^{竹下}けいさん^{けいさん}でした。それでは、共^共力^力者の森下^{森下}ゆいさん^{ゆいさん}に聞^聞いてみましょう。ゆいさん、このた^たびは結果^{結果}的に結婚^{結婚}：ガ、今^今のお気持^{気持}ちは？」

「おばあちゃん、見^見てる？」

「あ、あ…です^すね。けっ、けっ、け



「こんと^{こんと}いう^{いう}です^すね…」

「ねえ、これイン^{イン}タ^タビ^ビュ^ュー^ー料^料も^もら^らえ^えん^んの、え…イン^{イン}…は、はい、では、なんと^{なんと}か社^社の方^方に話^話して^{して}み^みま^ます^すの…、それで、それ^{それで}で、結婚^{結婚}とい^いう異^異常^常な事^事態^態に…」

「はい、目^目標^標は松^松田^田聖^聖子^子さん^{さん}です。でも、私^私、歌^歌だ^だけ^けじゃ^{じゃ}な^なく^くてお^お芝^芝居^居も、大^大切^切だ^だと思^思う^うの。」

「つまり、その、けっ、こ…けっ、こ…に理想^{理想}の男^男性^性で^です^すかあ…今^今はち^ちゃ^ゃと^とだから、けっ、けっ、こん^{こん}して^{して}下^下さい^{さい}、いいわ^わよ。」

「えっ？ほん^{ほん}と^とで^です^すかあ？ばん^{ばん}ざ^ざい^い、ばん^{ばん}ざ^ざい^い…でも^{でも}竹^竹下^下さん^{さん}は…」

「す〜ん、ほ〜ん」

「あれ？あれ^{あれ}はいい^{いい}のよ。さ、行^行こ。」

「はい」

「ズ〜ん、ほ〜ん…」

「おしま〜」



千原 俊



たすら地を行く、ひょうきん男児。自分
のペースにさせたが最後、どこをどう絡
めて攻めたのか、うっかり、ちゃっかり
ゴールイン。
ただけど、みくんは知ッている。ユコ女
あなたには強いんだ。
僕なら、こらえきれずに吹き出します。
やはり、あなたは日本の母です。

竹下先生、しつかりね
へおしまいね



御そ、ちの皆さん、こっちの皆さん、竹下
御用とお急ぎの方、見ちゃい。御下
って、くんと、ユコちゃん、捕らるか。
さして、どっちか、限ると、捕らるか。
ちや、これ、試す度胸、ユコなら愛嬌。
の目次第。試す度胸、ユコなら愛嬌。
も、ひとつじや、開運成就、おらぬ。ポコ、
ユコのお客さん、なかな、おらぬ。ポコ、
てるよ。さあ、なかな、おらぬ。ポコ、
日本は、柄もあ、なかな、おらぬ。ポコ、
目が出る、柄もあ、なかな、おらぬ。ポコ、
い盆だ、張った、張った、ただ、あい、め、たい

さて、竹下氏の捕り物は、手、捕り
持たぬとも、ずんぐり毛、おちよ、口
と、線り出す返は、負けたと、ユコも、さ
す、見たり、俺も男だ、なかな、強、相
ふ、燃え、うきん、の血、九州男児、頼
の、に、燃え、うきん、の血、九州男児、頼

Special Scene

83^S
OVER

Special Scene

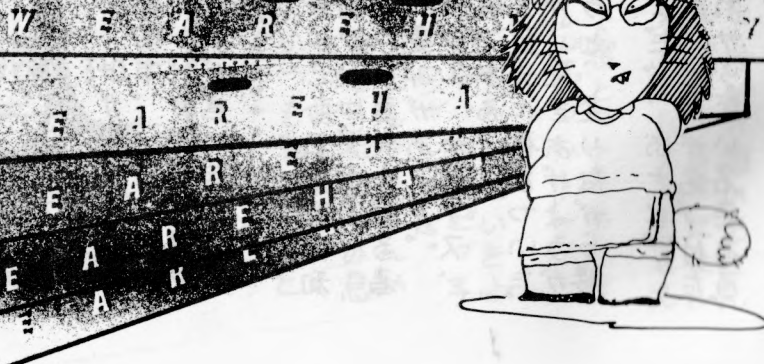
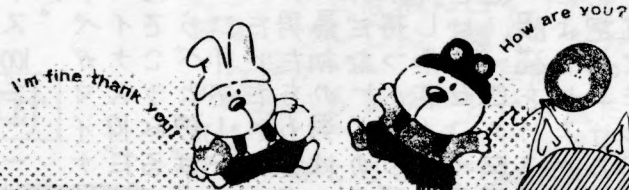
結婚するって本当ですか？でも、今なら心から言えます「おめでとう！
私のことなんか忘れて奥様とお幸せに。

それから、私から、ひと言アドバイス。「蚤とりは、欠かさないように。
トイレはなるべく外の砂場できるように、そして新居の柱で瓜ときを
しないように。」

お祝にあなたの大好きだった、ピュリナとミミーかつお味を贈ります。

愛しい ぼこ様

阿闍梨♡



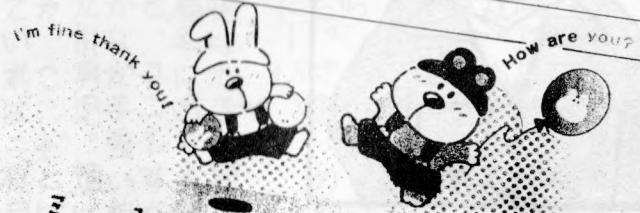
『ぼこ』へのフタ-

阿闍梨

83^S
OVER

Special Scene

あの日のことを、私は忘れることができません。どしゃ降りの中、
あなたは傘も持たずにとび出して行きました。私は窓越しに
あなたの後ろ姿を見送りながら、「ごめんなさい、ごめんなさい
と何度もつぶやいたのでした。
でも、あのまま、ふたりの愛が 終わってしまうなんて……。
私には信じられなかった。私が たった1度、アスレッドを使った
というだけで、あなたが あんなに愛していた あの部屋を出ていっ
てしまうなんて……。 ごめんなさい。みんな私が 悪かったの。
蚤の 100匹や 200匹で、あなたを責めたりして……。
でも、あなたを追い出すつもりは なかったの。本当よ!!
あれから私、毎日 あなたの帰りを待って、キャットフードを
抱きしめていたのに……。
あの後聞いた あなたのうわさは 1度だけ。寺尾台団地で
ゴミ箱をあさっていたと……。



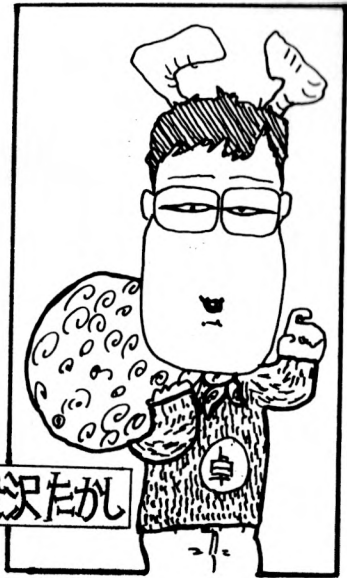
懐しき追波荘



あれから、もう3年以上もすぎた。そして、竹下けいが結婚するという。おめでどう。君が最初とは、思わなかった。もっとも最後に残るのは、私ガ岬とおるか。生田祭で会おうじゃないか!

「ロン」男は静かに立ち上がると、大きく伸びをした。徹夜明けのこわばった体に快い痛みが走る。にいくらだいたい。一心に計算していた男が「るラス100だ」。俺がマイナス50、叶がマイナス31と、俺がマイナス19だ」と竹下。「ズツコイでー」と呼ばれた男が言った。「他の男たちも疲れのにじむ口調で唱和した。最初の男は、穏やかに笑うと、「実力だな」その口調には真実を語る者のみがかし半荘もある種の重みがあった。口とは、半荘も回をラス、マイナス、突然、一匹の白猫が足元に飛びついた。男は一瞬猫をけろうか、抱きあげようか迷ったようにためらうと、坐りながら膝の上に抱き上げた。猫は立ってたら、夕メだぞ、おさせ。」猫はおさせといつた。だれが名づけたか知らないが、訳のわからない名である。

すみません



す、すみません。原稿送れなくて。なんせ、最近、急に仕事が増しくなりまして。さて、これからまた、ひと仕事してきます。では*****モ~~~~

そらやなあ、竹下けいの想い出なんてあんまりないんや。いっしょに住んでた、竹下は別に、なーんもせんへんかった。屋敷まで寝とって、テレビ見て、夜は夜でテレビばかりや。それだけやねん。日曜日というても、どこにもいきよらん。ヤッぱりテレビや。テレビの子やねん。それと、マジジャンやな。『ぼこ』をいじめることもせえへんかったし。もつとも『ぼこ』は自分の息子やでかい。ほんとに『ぼこ』そつくりや。瓜ふたつや。いつも寝ているところなんが*****

叶

